

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年10月7日 木曜日

OCIの要塞が無料アカウントで使えなかったことについて

要塞(Bastion)が使えなかったことがあったので書き留めておきます。

使えなかった条件としては、以下です。

1. 有料アカウントでない。 - 要塞(Bastion)自体は無料
2. 接続先となるコンピュート・インスタンスがプライベート・ネットワークに配置されている。

Oracle Cloudのアカウントにクレジット・カード情報が紐づいていないと、アップグレードの案内が画面に表示されます。



アップグレードをクリックすると、Cost Managementの支払方法のページが開きます。

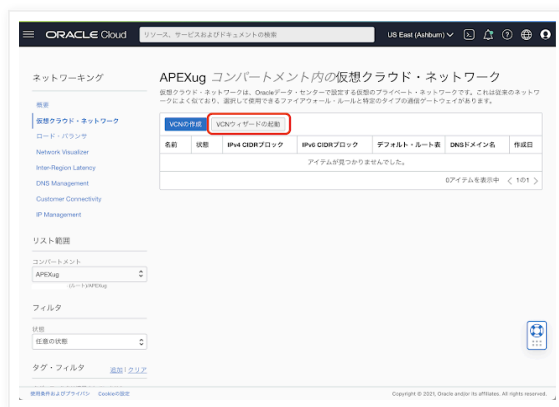


ここからアカウントにクレジット・カードを登録すると、有料アカウントになります。有料アカウントになると、アップグレードの表示が消え、代わりに請求予定の料金が表示されます。



Always FreeのAutonomous DatabaseのインスタンスやComputeのインスタンスといったAlways Freeで提供されているもの以外でも、無料で使えるものはFree Tierアカウントでも使えると思っていたのですが、そうではなかったです。

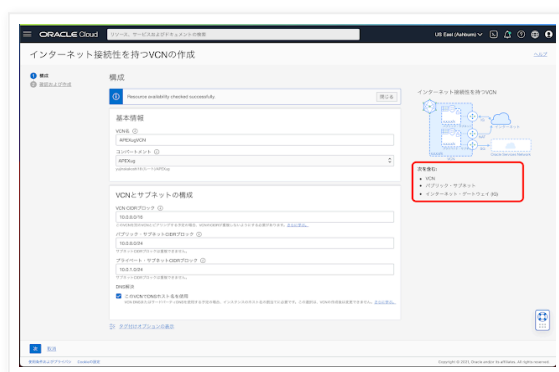
最初に仮想クラウド・ネットワークを作りました。ネットワークの仮想クラウド・ネットワークを開いて、**VCNウィザードの起動**をクリックします。



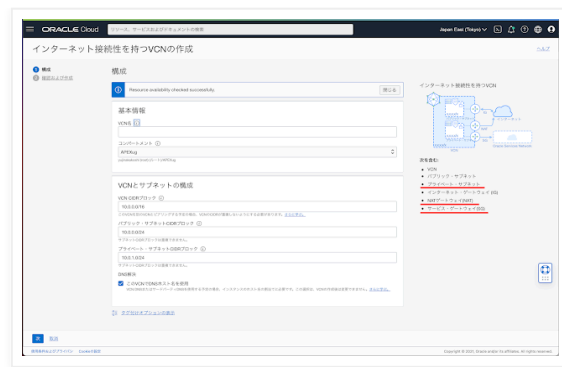
VCNを作成するウィザードが起動します。ウィザードの画面には、**NATゲートウェイとサービス・ゲートウェイ**を含んだ図が書いてあります。



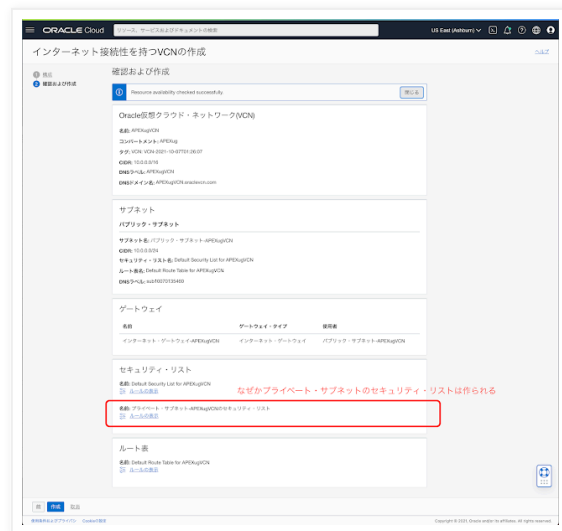
VCNウィザードを起動します。画面右側に実際に作成されるコンポーネントが記載されています。作成されるコンポーネントはVCN、パブリック・サブネット、インターネット・ゲートウェイ(IG)となっています。**ブラウザの画面を横に広げていないと表示されないで、見落としていました。**



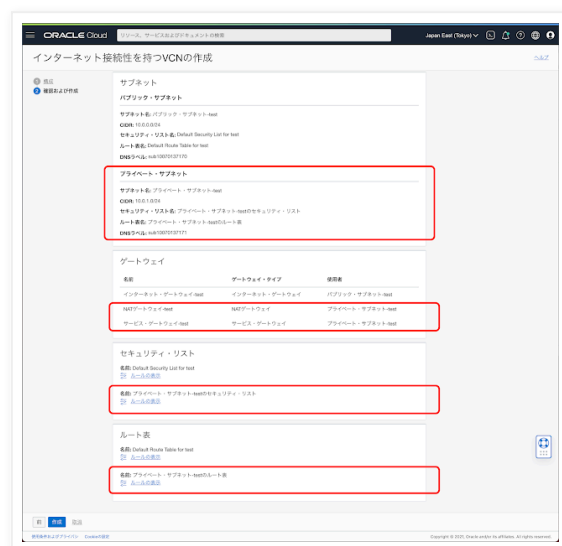
有料アカウントでVCNウィザードを起動したときは、以下のようにプライベート・サブネット、NATゲートウェイ、サービス・ゲートウェイ(SG)も含まれます。



Free Tierアカウントではプライベート・サブネットは作成対象に入っていないませんが、確認画面にはセキュリティ・リストだけは表示されます。



有料アカウントの確認画面では、プライベート・サブネットに関する設定、NATゲートウェイ、サービス・ゲートウェイすべてが含まれています。



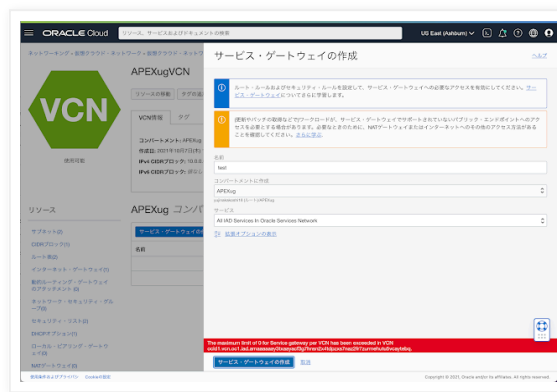
Free TierアカウントからVCNウィザードを起動したときは、プライベート・サブネットが作成対象に含まれていませんが、作成結果にはプライベート・サブネットも報告されます。



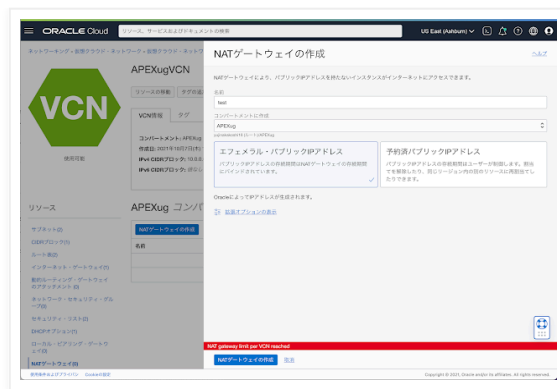
作成されたVCNを確認すると、プライベート・サブネットが作られていることが分かります。NATゲートウェイとサービス・ゲートウェイは作成されていません。



VCNウィザードの制限かと思い、手動でサービス・ゲートウェイを作成すると、**The maximum limit of 0 for Service gateway per VCN has been exceeded in VCN**とエラーが発生しました。Free Tierアカウントでの制限のようです。



NATゲートウェイも同様に作成しようとすると、**NAT gateway limit per VCN reached**とエラーが発生します。こちらもFree Tierアカウントでの制限のようです。

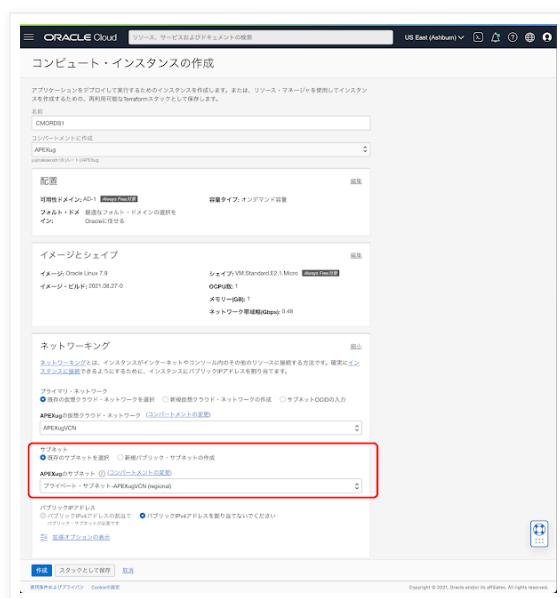


サービス・ゲートウェイがないので、プライベート・ネットワークに作成したコンピュータ・インスタンスに要塞(Bastion)から接続することはできません。

NATゲートウェイもないので、プライベート・ネットワークに作成したコンピュータ・インスタンスのソフトウェア・アップデートなどもできません。(yumサーバーに接続できないため)

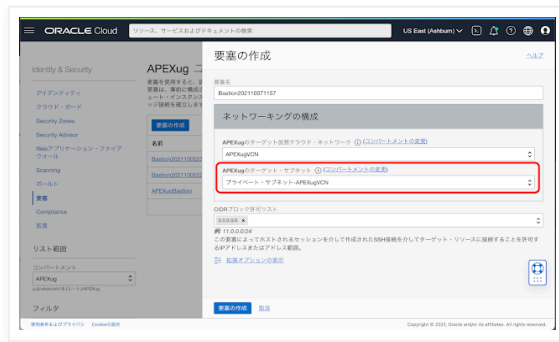
Free Tierアカウントではプライベート・ネットワークを作っても仕方がない、といえるかと思えます。

Always Freeのコンピュータ・インスタンスを作成するときに、ネットワーキングのサブネットとして、作成されているプライベート・サブネットを選ぶことができます。



作成したコンピュータ・インスタンスのOracle Cloudエージェントの状態を確認すると、有効になっているサービスはすべて**Plugin XXX Service Agent not present for instance ...**として、エージェントが見つからない状態になっています。要塞のサービスを有効にしても**Plugin Bastion not present for instance**というメッセージが表示されます。プライベート・ネットワークに作成したコンピュータ・インスタンスに接続するには、パブリック・サブネットにコンピュータ・インスタンスを作成し、それを踏み台にする必要があります。踏み台を準備して確認したところ、Oracle Cloudエージェントは動作していました。エージェントが見つからないのは、ネットワーク接続の問題です。

要塞の作成は可能です。



作成した要塞(Bastion)からセッションを作成しようとすると、以下のエラーが発生します。

To create a Managed SSH session, the Bastion plugin must be in the RUNNING state on the target instance, but the plugin is not running on <ocid>. Enable the Bastion plugin on the target instance before creating the session.

プライベート・ネットワークを含む仮想プライベート・ネットワークを作成し、活用するには有料アカウントにアップグレードする必要があります。

完

Yuji N. 時刻: 13:38

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.